

こもれ陽

南足柄市立足柄台中学校 3年1組 学級通信 担任 石川 幸恵

2014, 4, 24 (木) NO, 4

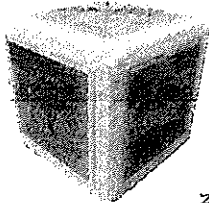
3年生になって約3週間がたちました。3年生となった自覚が授業中にも感じられます。部活動には1年生も正式入部をし、最上級生としてさまざまな場面で下級生の手本となる場面が増えていきます。

みんなが楽しみにしている修学旅行も近づいてきました。決めることも多いですが、班やクラスで協力して準備を進めていきたいと思えます。

修学旅行に向けて

5月14(水)～16日(金)の修学旅行の3日目では、立命館大学国際平和ミュージアムに行きます。4月21日(月)の「道徳」と4月22日(火)の「総合的な学習」の時間では、その事前学習として、国際平和ミュージアムから借用した教材を使い、「平和」について考えました。その取り組みを紹介したいと思います。

☆「さいころくんを見てみよう」

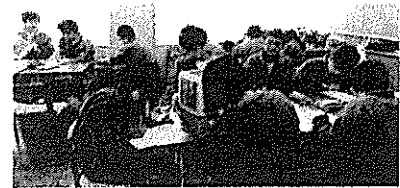


←「さいころくん」

日本で使われている「サッカーボール」はどこで作られているか？一番多いのは「パキスタン」だそうです。日本で買うと約4000円。しかし、現地では40円くらい…。その差はどこから来るのか？→それは低賃金、そして児童労働が原因。

そんな話題を導入にし、そこから、目を世界に向けてみました。現在の私たちの周りには平和な暮らしを阻むさまざまな現実があります。そこに目を向けながら、その構造を知ることで、平和な地球社会を築くため、子どもたちにもできることを見つけるヒントをつかむことがこの「さいころくん」を使う目的です。

現代社会の諸問題を示唆するデータを紹介している「さいころくん」を実際に触れながら、班を中心に考えてみました。いくつか出てきた意見を紹介します。



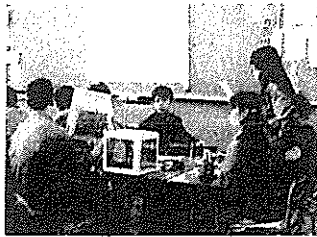
(1) 興味深かった面

「7人にひとり 2億1800万人もの子供が働いている」

…私たちが学校に行き、授業を受け、部活動をしたり、家でご飯を食べたりお風呂に入って寝る。そういう当たり前のような生活を当たり前に行えない人がなぜこんなにいるのだろう。

「8人にひとり 69億人のうち約9億人は安全な水を使えない」

…日本はほぼ100%安全な水が使えるため、汚い水を飲むということはありません。

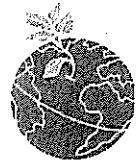


「5歳になるまえに命を失う子供たち」

…日本は10人未満なのに、200人ものが死んでいる国もある。

「世界が援助している量。日本が捨てる食料」

…世界が援助している量よりも、日本が捨てる食料の方が4倍も多い。びっくりした。



この時間を通して考えたことや感じたこと

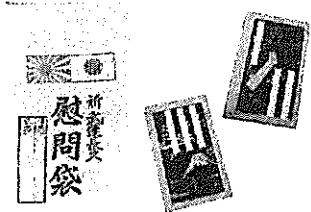
○貧しい人々のところへ助けに行くのは難しいかもしれないけど、募金活動などで寄付することはできると思う。1日でも早く、このような貧困もしくは戦争がなくなしてほしいと思う。日本はとても恵まれた国だと思った。

○わたしたちの生活環境はとても恵まれていると改めてわかりました。安全な水が飲めなかったり、こども兵士として学校へ行かれなかったり。そう考えると私たちが面倒くさいと思っている普通の授業もとてもぜいたくなことだと思います。

○日本が恵まれていることに幸せを感じ、感謝しなければならなかったと思います。学校でやっているエコキャップ活動など、自分でも誰かのために役に立つことはできると思うから、進んでその活動に取り組みたいと思います。

☆戦時中の子どもたち 慰問袋ってなあに？

戦時中、銃後の人々が兵士へ送った「慰問袋」(とその中身)を通して、戦争の実態や当時の社会の様子を知り、平和の大切さについて考えました。慰問袋の中には、キャラメル、皇軍慰問将棋、皇軍慰問裁縫セット、傷薬、慰問文、などが入っており、慰問文の書き方などの歴史資料の複製や慰問文の解説などを実際に目にするによって、当時の生活を想像し、感想を書きしてもらいました。いくつか紹介したいと思います。



この時間を通して感じたことや感じたこと

○今の日本はすごく平和だと思います。義務教育で勉強できるし、すごいなあと思いました。

○子供たちが書いた慰問文には、「僕も早く兵隊になりたい」と書いてあって驚きました。兵隊になるということは戦争に行くことで、自分の命をかけることなのでとても怖いことだと思います。

○慰問袋があったおかげで、兵隊さんたちの気持ちは少し暖かくなったのかな、と思いました。私は、戦争と向き合わせた教育を恐ろしく感じたし、二度とこんな教育はしてはいけないと思います。

○昔の子どもたちは戦争のせいで、私たちがしてるような授業ができず、戦争のために使うものを作ったりしていたことが分かった。私は勉強が嫌だなあと思っていたけど、昔の子どもたちは授業がしたくてたまらなかったのかなあと思いました。改めて、私は今のこの暮らしを大切に生きていきたいと感じました。

今、私たちが平和で不自由なく生活できているのは、過去にたくさんの犠牲になった人たちの上に成り立っているんですね。そんな中で自分ができることを一つずつ積み重ねていきたいですね。

ご協力をお願いします！

厚生委員会：25日までベルマークを集めています。

生徒会本部：エコキャップを集めています。いつ持ってきて大丈夫です。

☆総合・道徳「平和学習」～修学旅行に向けて～



左の写真は修学旅行の3日目に訪れる予定の「立命館大学国際平和ミュージアム」です。世界の平和や戦争の歴史についての資料が豊富であり、戦争体験者のお話を聞けるなど、訪れるだけでいろいろなことを考え、学ぶことができる施設です。その体験を有意義な充実したものにするために、総合、道徳の時間で平和について考えました。

2回の授業の中でどういった意見を3-4のメンバーがもったのか紹介していきたいと思います。

☆総合4/23「サイコロくんを通して見える世界」

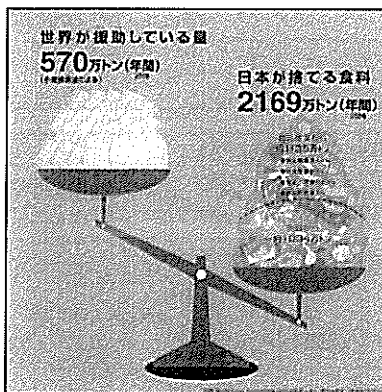
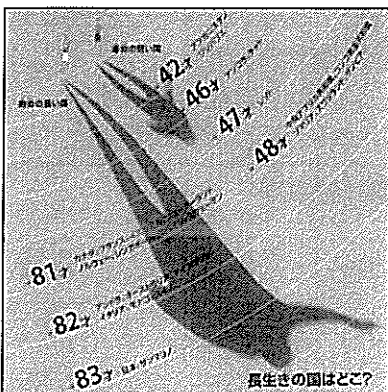
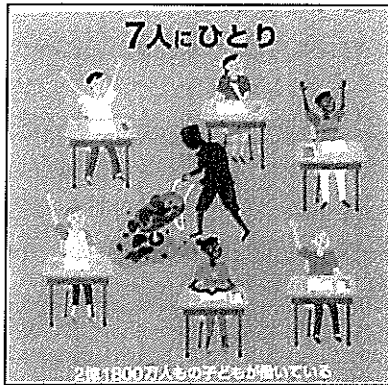


全国学習状況調査が終わった直後の総合で実施しました。教室の移動もあり、課題に集中して取り組んでくれるか心配でしたが、3-4のメンバーは一生懸命課題に取り組んでいました。すばらしい!! 各班の発表の振り返りと皆さんの感想の一部を紹介します。

<サイコロくん>

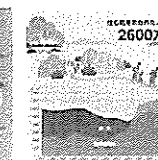
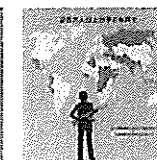
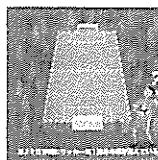
立命館大学平和ミュージアムから借用したもの。サイコロの6つの面、一つひとつに世界規模の問題がプリントされている。

【サイコロくんの面】



<発表の流れ>

1. 班で一つ興味を持った面を選ぶ。
2. なぜその面を選んだのか。また、その現状が起こる背景を考えて班の代表者が発表。
3. 発表に対して温かい拍手
4. 発表の振り返り。



【各班、発表の振り返り】



1班「長生きの国はどこ？」

<問題が起こる背景>

- 食料不足による栄養失調。水不足、医療の格差。戦争

2班「5歳になる前に命を失う子どもたち」

<問題が起こる背景>

- 小さな子どもは免疫力が低く、悪い環境だと耐えられない。食べ物が不足している。

3班「約4秒に1人の餓死者 1日に2万5000人」

<問題が起こる背景>

- 食料不足。お金がない。

4班「7人に1人の子どもが働いている。」

<問題が起こる背景>

- 発展途上国では、親が働いていたとしても十分な稼ぎにならないから。

5班「世界の援助している量と日本が捨てる食料。」

<問題が起こる背景>

- 食べきれないのにいっぱい(日本人が)食料を買ったり、嫌いだからといって残したりし、ゴミが増えるから。

【3-4メンバーの感想の紹介】

- 日本はとても恵まれた国だと思いました。日本が捨てている食料の量が、世界に援助している食料の量の3倍であることを知り、とても驚きました。これからは給食を残さない、無駄なゴミは出さないことから始めようと思います。←ぜひ行動に移して行きまよう！

- できたら貧しい国に関わる仕事を責任もって行いたいと思いました。そういう国の人たちにも幸せになって欲しいです。

←こんな人が増えると世界が変わるかも！！

- 日本ではなんの問題にもならないことが、貧しい国では問題になっている。例えば日本には薬局があり、簡単に薬が手に入るけれど、貧しい国では小さな病気にも対応できない。もっとボランティアに参加して、世界の人たちを助けてあげたいです。

←途上国の難しい現状が理解できたようですね。

- 日本は平和だから、あんまり危機が感じられない。だからこういう授業を通して、他の国の状況を知るのはすごく大切なことだと思う。なんで同じ地球でも、こんなに貧しさが違うのか。平等になったらそれが一番幸せだと思う。

←今回の授業を大切に思ってくれて、ありがとう。

- 4秒に1人の人が餓死をしていることが、とても多いと思った。日本にも餓死者がいることに驚いた。

←世界だけでなく、日本国内の問題にも注目していこうと姿勢が見られます。

- サイコロに書いてあったことと、自分が生活している環境を比べてみると、同じ地球で起こっていることだと、頭ではわかっているけど実感はわかりませんでした。自分の暮らしと直接つながっている部分もあるから、世界の問題に対して実感を持てるようにしたい。

←修学旅行3日目の訪問も問題を身近に感じるための良いきっかけにもらえれば幸いです。

- 小さい子どもが武器を持ったり、働いていたりとかわいそうだと思った。食べるものがなくて困っている国もあるから、出されたご飯はしっかりと食べるようにしたい。

←自分ができることをやろうという姿勢が良いですね！。

- 他の班の意見とほとんどで共通している「貧しさ」が日本にも当てはまると自分は生きていけないなと思う。私達のできることは少ないけれど、他国の現状をしりたいと思ったし、京都にいったらいろいろと学びたいです。

←修学旅行の一つのテーマとしてみてください！！

<みなさんの感想を読んで>

世界の現状を他人事と考えずに、何か自分の生活の中でできることをしていこうとする人が多く、素敵だなと思いました。感想で書いたことを一つひとつ行動につなげていって欲しいです。

みなさんにできる一番の援助は「世界を知ること」です。現状をよく理解した人が増えることで世界は変わります。これからも世界に目を向けることを大切に、生活していきましょう！！

足柄台中学校 修学旅行事前指導 「さいころくんを見よう」

() 組 () 番 氏名 ()

1、2種類の「さいころくん」を見て、それぞれ興味深かった面とその理由を考えて発表しよう。

◎興味深かった面①

その理由

◎興味深かった面②

その理由

2、他の5面をみて、このような世界の現状がおこる理由に共通点がないか考えてみよう。

①

②

3、他の班の発表を聞いて、分かったことや興味深かったことを書いてみよう。

